

令和4年香美市こども議会

令和4年11月14日

香美市教育委員会

令和4年香美市こども議会会議録

招集の場所 香美市議会議場
会議の日時 令和4年11月14日月曜日 午前9時00分宣告
出席の議員

鏡野中学校

文化・環境委員長	公文碧唯	生徒会書記	小松心香
生徒会副会長	安本梨乃	給食委員長	柴原絆花
学習委員長	井上充祥	保健委員長	辻田楓乃
図書委員長	植木萌生	生徒会長	山崎結太
体育委員長	竹村博子		

説明のため会議に出席した者の職氏名

【市長部局】

市長	依光晃一郎	農林課長	川島進
総務課長	川田学	商工観光課長	石元幸司
企画財政課長	佐竹教人	環境課長	依光伸枝
定住推進課長	中山繁美	管財課長	和田雅充
防災対策課長	日和佐千城	ふれあい交流センター所長	植田佐智
税務収納課長	猪野高廣	会計管理者兼会計課長	明石清美
市民保険課長	萩野貴子	《香北支所》	
福祉事務所長	中山泰仁	支所長	前田哲夫
健康介護支援課長	宗石こずゑ	《物部支所》	
建設課参事	近藤浩伸	支所長	竹崎澄人
建設課長	井上雅之		

【教育委員会部局】

教育長	白川景子	教育振興課長	公文薫
教育次長	秋月建樹	生涯学習振興課長	黍原美貴子

【消防部局】

消防長	宮地義之
-----	------

【その他の部局】

上下水道局長	西村安史
--------	------

職務のため会議に出席した者の職氏名

議会事務局長	一圓幹生	議会事務局書記	藤川典子
議会事務局書記	横田恵子		

議事日程

令和4年11月14日（月） 午前9時開議

一般質問

- | | | | | |
|------------|---|---|---|---|
| ① 文化・環境委員長 | 公 | 文 | 碧 | 唯 |
| ② 生徒会副会長 | 安 | 本 | 梨 | 乃 |
| ③ 学習委員長 | 井 | 上 | 充 | 祥 |
| ④ 図書委員長 | 植 | 木 | 萌 | 生 |
| ⑤ 体育委員長 | 竹 | 村 | 博 | 子 |
| ⑦ 生徒会書記 | 小 | 松 | 心 | 香 |
| ⑧ 給食委員長 | 柴 | 原 | 絆 | 花 |
| ⑨ 保健委員長 | 辻 | 田 | 楓 | 乃 |

議事の経過

(午前 9時00分 開議)

○議長(山崎結太君) おはようございます。ただいまの出席議員は9人です。定足数に達していますので、これから令和4年香美市こども議会を開会します。

直ちに、本日の会議を開きます。

議事に先立ちまして、一言ご挨拶を申し上げます。

本日はお忙しい中、お集りいただきありがとうございます。こども議会の開催に当たって、私たち鏡野中学校の3年生は、社会の授業で地方自治の意義や公立公正の視点を大切に、インターネットで情報を収集し、意見や質問を考えてきました。考える中で今の香美市の状況を知ることができ、ふるさとと真剣に向き合ういい機会になりました。

今日は香美市の中学生代表として、責任を持って質問をしていきたいと思います。皆さん、よろしくお祈いします。

これから、一般質問を行います。通告順に従いまして、順次質問を許可します。

1番、文化・環境委員長、公文碧唯さん。

○1番(公文碧唯君) 文化・環境委員長の公文碧唯です。

インターネットなどで香美市の出生率が年々減少して知っていることを知りました。また、香美市からの人口流出は、近隣の高知市や南国市、香南市が多いことがホームページで分かりました。それに対して、香美市に若い世代の家族を中心にUターン、Iターンしてもらうため、市営住宅の整備や使わなくなった古民家の再利用を進めるなど、具体的に行っている政策を教えてください。

以上で質問を終わります。

○議長(山崎結太君) 定住推進課長、中山繁美さん。

○定住推進課長(中山繁美君) はい。公文委員長のご質問にお答えいたします。

移住者向けの新設の住宅整備については考えておりませんが、古民家の再利用については、香美市では空き家バンクという制度を導入しております。

空き家バンクというのは、市内の空き家を売りたい、貸したいという方の物件を登録して、香美市のホームページに掲載して、移住希望者に向けて発信していくというものでございます。通算の登録件数は約130件でございます。値段が安く利便性のいい物件が出れば、物件見学が順番待ちになるほど人気があります。

ここに登録することで空き家改修の補助金を利用することも出来ます。香美市ではこの空き家バンクに登録出来る物件の発掘に積極に取り組んでおります。

以上です。

○議長(山崎結太君) 公文碧唯さん。

○1番(公文碧唯君) ありがとうございました。私はこの機会が無ければ、香美市のIターン、Uターンについて考えることが無かったと思います。私が知らなかつ

たことを学校に帰って仲間に教えたいと思います。ありがとうございました。

以上で私の質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（山崎結太君） 次に、2番、生徒会副会長、安本梨乃さん。

○2番（安本梨乃君） 生徒会副会長、安本梨乃です。

香美市のホームページに小中学生に見やすいページを作ることは可能でしょうか。専門用語があったり、小中学生には理解出来ない難しい政策が書かれていたりして、香美市のことを調べるには分かりにくいと感じました。提案なのですが、市役所の方がホームページを作ると難しく固いものになってしまうと思うので、これから社会に出る高校生や、大学生に作成してもらおうというのはどうでしょうか。社会勉強にもなりますし、今の子ども達の視点に近い考え方で作成してくれると考えました。

以上で質問を終わります。

○議長（山崎結太君） 総務課長、川田 学さん。

○総務課長（川田 学君） 安本梨乃さんのご質問にお答えをいたします。通告では2つに分かれておりましたので一つずつ回答させていただきます。

まず、高知県のホームページには、「こどものページ」という小学生が高知県を分かりやすく学ぶことが出来るページがあります。また、県単位ではなくても「キッズページ」を作成している市町村は全国にも幾つかあるようです。香美市のホームページを通して、小中学生が香美市のことをもっと知ってもらい好きになってもらえるよう、このような「キッズページ」、「こどもページ」の作成について検討していきたいと思っております。

2つ目になりますが、ホームページの記事によっては、作成から掲載まで余り時間が取れないものがありますが、実際に先ほど申しましたキッズページを作成することになった際には、高校生や大学生にもご協力をいただくことも考えたいと思います。また職員自身も分かりやすく見やすいページを作成していくことはとても大切なことですので、改めてそういったことを意識しながら、作成していくよう努めていきたいと思っております。

以上です。

○議長（山崎結太君） 安本梨乃さん。

○2番（安本梨乃君） ありがとうございました。先ほど言った政策を行っていけば、これからの小中学生も香美市を理解しやすくなり、更により良いまちづくりがしていけるんじゃないかと思えました。お時間いただきありがとうございました。

以上で私の質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（山崎結太君） 次に、3番、学習委員長、井上充祥さん。

○3番（井上充祥君） 学習委員長の井上充祥です。

香美市にはたくさんの伝統工芸があります。例えば土佐打刃物です。香美市には鍛冶屋創生塾があります。ですが鍛冶屋になる人が年々少なくなっていると聞きました。

私はこれからも伝統工芸を保存し、私たち若い世代が受け継いでいくことが大切だと思います。なので、伝統工芸に興味を持ってもらうために、若者に人気のあるブランドなどと協力することを提案します。

これで質問を終わります。

○議長（山崎結太君） 商工観光課長、石元幸司さん。

○商工観光課長（石元幸司君） 井上学習委員長のご質問にお答えいたします。

土佐打刃物は平成10年に国の伝統工芸品の産地指定を受け、高知県内において土佐打刃物の製造者が一番多くいるのは土佐山田町であり、堺や三条、越前などと共に、日本の刃物六大産地の一つに数えられております。しかし、近年は農林業の機械化や生活環境の変化により刃物の需要は低迷し、香美市において平成12年に79企業あった鍛造業者は、平成28年には32企業に減少しており、また生産者の高齢化が進んでいるなど、後継者の育成が喫緊の課題となっております。

そこで、香美市の伝統産業を存続させ、土佐打刃物の文化と技術を後世に伝える為、高知県土佐刃物連合協同組合は、令和元年11月に鍛冶屋創生塾を開塾し、これまでに1期生3名、2期生3名を受け入れ、鍛冶職人を育成しております。

今回のご提案を受け、有名ブランドとのコラボについて調べてみました。岐阜県関市にあるニッケン刃物株式会社は、エヴァンゲリオンや機動戦士ガンダム、ワンピースとのコラボ商品を販売し、関の刃物を広く全国にPRしております。また、刃物ではないんですが、山梨県甲府市の伝統的工芸品である鹿皮に漆で模様を付ける甲州印伝の会社ではグッチ等のファッションブランドとのコラボをするなど、独自の商品開発に取り組んだ結果、伝統工芸士が増加したとの調査結果が出ております。

現在、鍛冶屋創生塾の2期生の平均年齢は21.6歳と凄く若く、これからいろいろなアイデアが出てくると考えられます。今後、鍛冶職人等から土佐打刃物の魅力発信等を目的に、人気ブランドとのコラボなど、新しい取り組みを行いたいといった話があった場合は、市として出来る限り協力していきたいというふうに考えております。

以上です。

○議長（山崎結太君） 井上充祥さん。

○3番（井上充祥君） ありがとうございます。これから刃物のことをもっと知って、より人気のあるブランドなどと協力することで、いろんな人に香美市の打刃物に興味を持ってもらって、生活をしていけたらなあと思いました。今日はありがとうございました。

以上で僕の質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（山崎結太君） 暫時休憩します。

（休 憩）

○議長（山崎結太君） 正場に復します。休憩前に引き続き会議を行います。

次に、4番、図書委員長、植木萌生さん。

○4番（植木萌生君） 図書委員長、植木萌生です。私は自然を生かした取り組みについて質問します。

こちらは香美市の人口の推移です。このように香美市は人口の減少、高齢化、出生数の減少などが見られます。右の文章は平成27年9月、香美市まち・ひと・しごと創生総合戦略より抜粋・引用させていただきました。更に予測によると、2060年には年少人口が7.1%、高齢者の人口は43.0%になると予想されています。加えて、林業の従事者数は177人しかおらず少ないと感じました。

香美市の移住の促進や町の活性化、林業従事者の増加を図って、木の良さを伝えることの出来る建物を、香美市の豊かな自然を生かして中山間地域に作ってはどうか。

具体的な例として、先日開館した日には沢山の人も来館されたかみーるや、宿泊やピザ作りなどのことを楽しめる、ほっと平山などの施設や、他の高知県の木造建築としては梶原町の雲の上の図書館、そして、全て高知県の木を使って作られた、はりまや橋商店街などをモデルにすることが出来ると思います。

これは個人的な意見ですが、香美市や高知県にはまだまだ木を使った良い建物が沢山あると思います。しかし、私がこの4つの施設を選んだのは、これらが入ってみたり実際に利用してみることで、ワクワクしたり、こんな施設が近くにあったらいいと思うことが出来たからです。だから私はこんなところが近くにあったらいいな、此处にもう一度来たい、そして来てみるだけで楽しくなるような施設、香美市への愛着が湧くような施設を作ったら良いと思います。

以上で質問を終わります。

○議長（山崎結太君） 農林課長、川島 進さん。

○農林課長（川島 進君） 植木図書委員長のご質問にお答えいたします。

香美市では、香美市公共建築物等木材利用促進方針を定めており、建物を建てる場合は、市内で生産された木を使って建てることを推進しています。これは林業の活性化を通じた森林の適正な整備や地域の活性化に繋がるものと考えております。

近年では、図書館、香北分室の書架、楠目小学校の下駄箱等に市産材を利用したほか、本年11月3日に開館したかみーるは、天井や壁、机、椅子などに市産材を利用し建設していますし、現在計画中の美良布保育園も市産材を使い建設する予定です。

なお、農林課による林業従事者の増加に繋がる取り組みとしましては、市内小学生を対象にした「かみんぐKid's木の学校」という事業を開催しております。大工や設計士、製材所、森林組合といった木に関わる仕事を体験を通じて学んでもらい、将来の仕事の選択肢の一つとなることを目的としております。

以上です。

○議長（山崎結太君） 管財課長、和田雅充さん。

○管財課長（和田雅充君） お答えいたします。

高知県産材木材の供給及び利用の促進に関する条例、高知県産材利用推進方針に基づき、香美市の公共建築物の建築につきましては、木造化、木質化を出来るだけ図るよう現在も取り組んでおります。方針の中には「公共建築物や公共土木工事は、広く県民の利用に供されるものであることから、多くの県民に対して、木との触れ合いや木の良さを実感する機会を提供することができる。また、その取組状況や効果等について積極的に情報発信を行うことにより、木材利用の意義について県民の理解を深めることができる。」となっております。

香美市の公共建築物を木造化、木質化を進めることにより、市民に木の良さを知ってもらうことだけでなく、木材利用を促すことによって木材の需要拡大を図り、林業を育成し、雇用に繋げていくという意味合いもあります。今後も継続して事業を推進していきたいと思っております。

また、このお答えとは別に、今、山に植林されている木の種類は杉やヒノキが多く、これは保水力がなく災害を起こしやすい木でもあります。よくテレビのニュースで観る崖崩れは、こういったことが原因になっていることもあります。

更に、これらの人工林が増えた結果、イノシシや鹿、熊や猿が山で食べるものが減り、食料を求めて人里に来るようになり、農作物への被害や、民家・人への被害も出てきております。最近では、あけぼの街道などでもイノシシを目撃したというような情報もございます。

杉やヒノキを伐採し、木材を利用して、新しく栗やドングリ、シイの木、欒の木などを植林しまして山を再生していくことも、生態系や治山の観点からも必要です。是非そういった部分も研究してみてください。

以上です。

○議長（山崎結太君） 植木萌生さん。

○4番（植木萌生君） ご返答ありがとうございました。私は香美市エコクラブというクラブに組織しており、実際に白髪山やみやびの丘で植林作業もしたこともあって、香美市の木材に関しては興味を持っておりました。なのでそのようなお答えを聞けて良かったです。

一つ質問をさせていただいても構いませんか。先ほどおっしゃっていた杉やヒノキを伐採し、欒や栗、ドングリなどを植えるということについてですが、この杉やヒノキはどのようなことに活用されるつもりですか。

○議長（山崎結太君） 管財課長、和田雅充さん。

○管財課長（和田雅充君） お答えいたします。

元々杉やヒノキを植林したというのは、元々戦争があつて家が多く消失したということで、昭和20年代から30年代にかけて多くを植林しましたが、なかなか切り出

すのに道もついていない、それからまた、安い外材が入ってきたということでなかなか切り出せないという現状があります。植木さんがおっしゃってた、木をもっと使うということが促進されれば、国産のヒノキや杉の木をどんどんどんどん住宅として利用出来ると思いますので、是非、さっきも写真にありましたけど、ああいうことを進めていかんといかんと私も思ってます。また植木さんもそういうことを研究して、取り組んでいただければと思います。

以上です。

○4番（植木萌生君） ありがとうございます。とても参考になりました。これで質問は以上です。

○議長（山崎結太君） 暫時休憩します。

（休 憩）

○議長（山崎結太君） 正場に復します。休憩前に引き続き会議を行います。次に、5番、体育委員長、竹村博子さん。

○5番（竹村博子君） 体育委員長の竹村博子です。

保護者や子どもが家から容易に通園して、質の高い教育や子育て支援事業の提供を受けられるために教育・保育提供区域が設定されていますが、適正規模に満たさなかった若藤・双葉保育園は現在休園しています。休園している保育園の近くに住んでいる家庭は通園時間が長くなると考えられます。不便だし、休園していないあけぼの保育園やなかよし保育園の近くに住んでいる家庭と比べると、子育ての環境に大きな差が生まれると思います。市としてはどう考えていますか。

以上で質問を終わります。

○議長（山崎結太君） 教育振興課長、公文 薫さん。

○教育振興課長（公文 薫君） 体育委員長、竹村博子さんのご質問にお答えいたします。保育園や園児のことを考えて質問してくれてありがとうございます。

まず、保育園について少し説明させていただくと、保育園とは、保護者の仕事や病気などで日中家庭で養育できない場合に、家庭代わって乳幼児を保育する児童福祉施設です。小中学校のように校区が定められてはおらず、仕事の時間など各家庭の状況により、保護者が必要とする保育園などを選んで申し込むことができます。

例えば、若藤保育園の近くに住んでいても、保護者が高知市内で土曜日も18時半頃まで仕事をしている場合、長時間保育をしているあけぼの保育園を選ぶケースもあるということです。若藤保育園、双葉保育園の両園共、園児の入園申し込みが少ないなど、当時いろいろな事情により休園の判断をしたものです。

子どもにとっては、保育園に通う距離が長くなり不便なこともあるとは思いますが、同じ小学校へ通うことになる、たくさんのお友達と遊び成長し合えるなどメリットも

あると考えます。休園している保育園だけでなく、遠くから通園、通学する環境にある乳幼児、児童生徒はいますので、全ての子どもが同じ条件というわけにはいきませんが、受け入れる施設では、安心・安全でより良い教育・保育が受けられる環境を整えることが出来るよう努めていきたいと思えます。

以上です。

○議長（山崎結太君） 竹村博子さん。

○5番（竹村博子君） 私は、いろいろ事情があって休園していることを余り知らず、けど今日お話を伺って、沢山の事情があって無くなっていることが分かりました。また、小学校も近くにはないので、その面で考えると良かったんじゃないかなと私は思いました。

以上で質問を終わります。

○議長（山崎結太君） 次に、7番、生徒会書記、小松心香さん。

○7番（小松心香君） 生徒会書記、小松心香です。私は2つ質問があります。

1つ目は、香美市の人口はどんどん少なくなっています。そして、高齢者の割合が大きく若者の人口が少ないです。人口ピラミッドの予想を見てみると、今後も人口は減少し、若者は減り、女性の高齢者の割合が大きくなっていくと予想されています。人口減少と少子高齢化によって労働力が低下し、経済が回らなくなったり、若者への税金の負担が大きくなったりする問題が起こるかもしれません。このことについてどのように考えていますか。

2つ目は、香美市のホームページには「学び・繋がり・未来」など教育方針について記載されていました。少子高齢化が進む中、香美市を子育てしやすい町にすればもっと良くなると思えます。教育費含め子育てに対し、香美市は具体的にどのような保障をしていますか。

以上で質問を終わります。

○議長（山崎結太君） 企画財政課長、佐竹教人さん。

○企画財政課長（佐竹教人君） 小松議員のご質問にお答えをいたします。

日本全体でも人口は2008年をピークに減少に転じておまして、以降東京都や千葉、神奈川等の一部地域を除いて概ね減少に転じるなど、人口減少は大きな問題となっております。本市におきましても、人口減少と少子高齢化が進行し、15歳から65歳までの生産年齢人口は減少し続けております。

議員のおっしゃるとおり、働ける人が少なくなってくると経済も小さくなり、年金や医療などの社会保障制度などにおいて、若者がお年寄りを支えることが難しくなってくるかもしれません。実際は働く人たちの賃金や物価も考慮した制度となっていて、単純に若者がお年寄り数人を担ぐといった構図にはなりません。働く人の給料水準が上がらないこと、原油価格が上がっていることや新型コロナの状況を考えると、不安になるのも無理はないかと思えます。

平均寿命が伸びてきたこともありまして、政府ではこれまで一億総活躍社会を進めてきたことは新聞等でもご承知かと思えます。是非はともかく、これにより頑張って働く時間を伸ばしたり、年金の給付開始時期を遅らせたりすることで、制度全体を持続可能なものにしていくことも考えています。

また、今年の国のいわゆる骨太の方針では、特にデジタル技術等に行政や民間企業が投資することによって、産業や社会の改革を促し、経済成長と成長の果実がみんなに行き渡る、成長と分配の好循環を実現させるとしております。これにより給付と負担のバランスを確保し、若い人達と現役世代の負担上昇を抑えていく方向も示されております。

香美市においても引き続き移住・定住対策等の人口減少施策を進めると共に、市民の方々の生活をより良い方向に変えていく為に、行政のデジタル化等を進めること、まあ自治体DXと言いますけれども、これを推進していきたいと考えております。

○議長（山崎結太君） 健康介護推進課長、宗石こずゑさん。

○健康介護推進課長（宗石こずゑ君） 小松議員の子育て支援に対する質問にお答えいたします。

まず初めに、香美市の子育て支援は子どもが生まれる前から始まっています。子どもが欲しくても子どもができにくいご夫婦には、5万円から10万円の不妊治療への助成を行っています。お母さんが妊娠したら、マタニティ教室等で妊娠中の過ごし方、栄養、出産についてのお話とか、赤ちゃんのお世話などの実習を行っています。

妊娠中の健診に対する医療費の助成も14回分あります。それから、赤ちゃんが無事に生まれたら、保健師とか助産師が、新生児訪問で赤ちゃんの体重やお母さんの産後の体調などを聞いて相談に乗っております。

あと希望する人には、地域には赤ちゃんすこやか訪問員さんっていう人がいまして、その方の訪問も行って、地域みんなで子育てを支援する仕組みの一助となっています。

赤ちゃんとお母さんには、医療のほうでは病院で受けられる健診の助成も行っています。更に赤ちゃんが4カ月とか10カ月、それから1歳6カ月、3歳になった時には、集団健診を香美市のほうで行っております。また予防接種については、国で定められたものについては無料で受けることが出来ます。

あと医療費については、香美市に住所があるゼロ歳から中学校3年生までの方を対象とした乳幼児児童医療費助成制度というのがありまして、それで入院や通院でかかった保険診療の自己負担分を全額助成しております。

また、ひとり親家庭のお母さん、お父さんと、それから18歳までの児童で所得税が非課税世帯の方を対象とした、ひとり親家庭医療費助成制度でも、入院や通院でかかった保険診療の自己負担を全額助成しております。

私のほうからは以上です。

○議長（山崎結太君） 教育振興課長、公文 薫さん。

○教育振興課長（公文 薫君） それでは、私のほうからは、香美市教育委員会で
行っている具体的な子育て支援策についてお答えいたします。

まず、家庭で保育している乳幼児と保護者を対象に子育てセンターなかよし、子育てセンターびらふの2カ所の施設で、遊びの場の提供や子育て相談、また、子どもさんを1日、または半日単位で一時的にお預かりする、一時預かり事業も行っています。

また保育園では、年度当初の待機児童が出ないように、各園の定員数の工夫をするなどして受付を行っています。

また、朝の7時から晩の7時までの最長12時間保育を月曜日から土曜日まで実施する園を設けたり、公立保育園全園で、食物アレルギーの子どもさんへの対応をするなど、多様な保護者のニーズに応えるように努めています。

小中学校では、遠距離通学をしている児童・生徒への通学費の補助、自転車通学をする際のヘルメットを購入することへの補助、経済的な理由により就学困難な児童・生徒の保護者への学用品費、給食費などの補助も行っています。

また、普通は保護者負担をお願いするような物の中で、原稿用紙や書道の半紙、ファイル、鍵盤ハーモニカ、お道具箱など、小中学校で使う学用品やテストなど、香美市では小中学校全児童・生徒分を香美市の公費で賄っているものも多くあります。

その他、経済的に厳しい状況の高校生や大学生などに、返還を求めない奨学金制度も香美市独自で設けています。

具体的な子育て支援として香美市が行っていることは、今述べたもののほかにもいろいろとあります。

ちなみに、皆さんに直接関係する教育費予算として、教育振興課と給食センターの令和4年度当初の予算額は、合わせて12億6,585万3,000円です。小中学校等の教育には力を入れてもらっています。

今後共限られた予算の中で、子育てしやすいまちづくりについて、有効で実行可能な手立てを考えていかななくてはならないと思います。皆さんも共に考え、アイデアを聞かせてくれたら嬉しいと思います。

ありがとうございました。以上です。

○議長（山崎結太君） 小松心香さん。

○7番（小松心香君） 私はまず、若者への負担を香美市がこんなにも積極的にしていることを知りませんでした。年金の給付を遅らせるなど、この議会がなければ知ることができなかったと思います。そして、子育てへの支援は生む前からしていることも初めて知りました。不妊治療への保障など、赤ちゃんの健康相談などを行っていることもこの議会で初めて知りました。そして、遊ぶ場所の提供や、保育園の定員数の工夫をしていることも初めて知ったので、この経験を生かしてもっと香美市がいい方向に進むように、もう少し自分でも調べて考えていきたいと思いました。ありがとうございました。

○議長（山崎結太君） 次に、8番、給食委員長、柴原絆花さん。

○8番（柴原絆花君） 給食委員長、柴原絆花です。

昭和30年代まで4万人を超えていた香美市の総人口は、令和2年の国勢調査結果では2万6,513人となっており、現在に至るまで減少し続けています。また、2060年には1万9,404人まで減少すると考えられています。私はこれからの香美市のためにも、少子高齢化や人口減少などの課題に対して、若い世代がより早く関心を持ち、選挙に参加しなければならないと思いました。

若い人達に選挙に参加してもらうために、市として取り組んでいることはありますか。

以上で質問を終わります。

○議長（山崎結太君） 総務課長、川田 学さん。

○総務課長（川田 学君） 柴原給食委員長さんのご質問にお答えします。

若者の投票率のことについて質問をいただき、大変心配してくださりありがとうございます。私たちも大変、若者の投票率の低下については危惧しているところであります。コロナ禍前は高知工科大学に期日前投票所を設け、若者の投票率向上を目指しておりましたが、コロナ禍の影響により高知工科大学の施設を使用することが出来ず現在は行えておりません。また、選挙の際には山田高校や高知工科大学に選挙啓発ポスターを送付し、校内での掲示をお願いしております。その他に香美市ホームページ、広報紙、Facebookを通じ、選挙への参加の呼び掛けを行っているところです。

また世界を見ると、若者の投票率の高い国では、政治教育や主権者教育が積極的に行われているようですので、香美市においても子どもの頃から政治に興味を持ってもらうためや、投票ということの意義についての教育が重要だというふうに考えております。

今後香美市としても、先進事例の研究を行い、投票率の向上に向けて取り組んでまいりたいと考えております。

以上です。

○議長（山崎結太君） 柴原絆花さん。

○8番（柴原絆花君） ありがとうございました。

私は、コロナ禍の前は工科大学の施設を利用していたことと、山田高校での校内の掲示やホームページでの呼び掛けと、世界を見た時に主権者教育を行うなどのことを初めて今日知ることが出来ました。

社会の時間とか公民の授業などで政治について学ぶ時などは、今日言ってくれたことなどを振り返りながら授業を受けたいと思いました。

ありがとうございました。

○議長（山崎結太君） 次に、9番、保健委員長、辻田楓乃さん。

○9番（辻田楓乃君） 保健委員長の辻田楓乃です。

私は部活が終わる時間がとても遅く、夜の真っ暗な時間帯に帰ることが日常となっています。自転車のライトを付けて帰りますが、通学路には街灯が少なく、人込みやお店も少ないためとても暗く、地面や前に何があるのかがとても分かりにくいので、いきなり人が出てきたり、車が出てきたりするのに気づくのに遅れ、事故をしそうになることがありました。お店が少なく、夜に暗くなる道や学校などの公共施設がある路地に街灯を付けてほしいです。街灯を付けることで事故や怪我が減ったり、車を運転する際や歩行者の方もより安心して道路を通行したりすることができるのではないのでしょうか。また、別の政策はありませんか。

○議長（山崎結太君） 建設課長、井上雅之さん。

○建設課長（井上雅之君） 保健委員長、辻田楓乃さんの質問にお答えいたします。道路を作ったり、直したりする係としての回答となります。

道路照明、いわゆる街路灯などについてですが、あったほうがいいですよという基準が国などで作られています。その中で歩行者などの、いわゆる交通弱者の安全を考え、道路の状況など明確に注意をすべき場所、例えば交差点、横断歩道及び歩道や橋梁、駅前などの広場などに部分的に照明を設置するのが、照明などで明るくするのが望ましいとなっています。

香美市におきましても、出来る限り設置をしたいと考えております。ただし、市街地などに新しく作る道路につきましては、十分ではありませんが現在付けています。ただ予算とか後の管理、それと付ける場所などの問題があります。明るくなったことによって農作物が育たなくなったり、また夜寝れんとかいうふうな形の苦情などもあったりして、付けられる場所が限られておったりすることもある為追い付いていないのが実情です。その為、地域や地区で管理をしてもらうような形となりますが、道路照明よりも少し暗くなったりもしますが、防犯灯などの設置をお願いをしています。ただし、防犯灯も電柱などの付けるものが無いとなかなか難しいです。なお、防犯灯の電気料などにつきましては、100%市のほうが負担しています。

今後も少ない予算となりますが、命の道を守る者として精一杯の対応をしていきたいと考えます。特に部活帰りなど、暗くなり大変危険な時間帯となる場合が多くなりますので、気を付けて、出来る限り、明るくて安全な道路を歩いて帰ってほしいです。お願いいたします。

以上です。

○議長（山崎結太君） 辻田楓乃さん。

○9番（辻田楓乃君） 質問の返答ありがとうございました。

予算によっては付けることが出来ない場合があるということを知り、また最初私の考えとしては、街灯を付ければいいという考えが一番大きかったですけど、付けることによって、香美市に住む住民の方にも負担がかかるということを知りました。香美市のほうからも防犯の為に必ず行っていくことを知れたので、質

間を考えてくれた生徒にまたお伝えして、これから香美市も少しずつ安全に下校等が出来るっていうことをまた知らせておきたいと思います。

ありがとうございました。

○議長(山崎結太君) 以上で、今こども議会に付された事件は全て議了しました。

それでは、閉会に当たり一言ご挨拶を申し上げます。

本日は私たちの質問に分かりやすく返答していただきありがとうございました。学校に帰って3年生にも伝えます。私は今日の返答を聞いていて、子育ての支援がとても充実していることや、その他いろいろなことを知らないことが沢山あるなど感じました。私たち若い人や普通の大人の人でも、ホームページなどから今の香美市を知ることがよりよい香美市につながると思います。なので、これからも香美市について一杯知って、自ら行動を起こしていきたいと思います。今回の活動を通して、遠くの存在だった政治が一気に身近なものに感じることができました。

今、若者の投票率の低さが大きな問題になっています。私たちは3年後には選挙権が与えられます。その時にはこのこども議会を思い出して、どのようにすれば香美市がもっと良くなるのかを考え、清き一票を投じることで政治に参加していきたいと思います。このような機会をいただきありがとうございました。今日は本当にお疲れ様でした。

次に、教育長から発言を求められておりますので、これを許可します。教育長、白川景子さん。

○教育長(白川景子君) 教育長の白川でございます。感想とお礼を申し上げたいと思います。鏡野中学校生徒会の皆様、本当に今日はありがとうございました。そして、校長先生を初め小畑先生、学校の先生方も大変ご協力をいただいて、本日のこの本議場でのこども議会を持つことが出来たことを大変嬉しく、またありがたく思っております。本当にありがとうございました。

皆様のご質問の質の高さにまずは感服をいたしております。3年生の公民の政治分野の学習を通して、それぞれの子どもさんから意見が出ましたと、その中から精選をし、更に生徒会の皆さんが絞って、本日ご質問に来ていただいたところだとお聞きをしました。そして、皆様のご質問の質の高さはもとより、各課の課長から答弁をさせていただいたことにつきまして、皆さんから一つ一つお答えがまた返ってまいりました。例えば、香美市への愛着が湧くような施設を作ってはどうか。事情を知らずにいたけれども、今日いろいろな事情があることを知った。あるいは、街灯を付ければと一方的な見方が多面的な見方や考え方に変わっていった。あるいは、これほど子育ての支援に取り組んでいただいているということを知らなかった。そして最後に議長さんから、しっかり政治と向き合い、自分自身も、今度選挙がある時には必ず1票を投じたいと、そういう力強いお返事をいただいたこととさせていただきます。

本日は、実はこの皆さんからいただいた力強い感想のように、まずは香美市をこれ

から作っていく大切な皆さんお一人一人に、香美市のことについてもっと興味、関心を持って欲しいというふうなことを思いました。そうすると皆さんは、実に素晴らしい探究力を発揮して本日の議会に臨んでいただきました。

香美市では、よってたかって教育によって、よってたかって教育というのは、香美市民みんなで香美市の子ども達を育てていくという教育の在り方のことです。そして、その教育の柱は探究です。今日皆さんがここで示してくださったように、自分で見つけた課題を真剣に学んで、その中からこれを尋ねてみよう、どうしてこうなってるんだろうということをおぼつける、そういう姿を育てたい。そのことによって郷土を愛し、この香美市を愛し、香美市の未来をつくる人が育つということで、香美市一丸となって取り組んでおるところでございます。本日は皆さんの対応力の素晴らしさ、そして趣向判断力の確かさ、何よりも初めてのことにしっかり準備をして挑戦する勇気を持つ、こういった皆さんの姿に出会い、本当に将来の香美市の展望が明るいということを実感をいたしました。どうか香美市の一員として、香美市をつくる一員として、私達と一緒にこれからも頑張ってもらいましょう。本日は本当にありがとうございました。言葉が十分整っておりませんが、私からのお礼の言葉といたします。鏡野中学校の皆様にもよろしくお伝えください。

以上で終わります。

○議長（山崎結太君） 次に、市長から発言を求められておりますので、これを許可します。市長、依光晃一郎さん。

○市長（依光晃一郎君） 本日は議長を初め議員の皆様方にお集りいただき、本当に素晴らしい質問をしていただいたことをまずもって感謝を申し上げたいと思います。実は後ろのほうに現役の市議会の皆さんもいらっしゃっておりますが、その方にとっても凄い発言、凄い質問だったなあ、そんな感想ではなかったかなというふうに思っております。また、課長も普段以上にしっかりと答弁をしておったようなことを思いまして、私自身も本当に頼もしく思いました。

特に、一番最初にお話がありましたとおり、地方自治についてインターネットなどを通じて調べられた、また、故郷に真剣に向き合っておるというような姿勢も本当に感じられました。人口問題、また移住のこと、産業については刃物であったりとか、林業政策、環境問題、子育て、また街灯であるとか政治・選挙に関わること、本当に幅広い内容でご質問をいただいた、そのように感じております。

特に私が感心いたしましたのが、データに基づいて質問をされていたということがあります。専門的に言うとエビデンス・ベスト・ポリシー・メイキング、EBPMってというようなことが議員の中でも今話が出ておるところですが、それと事例に基づいて、データに基づいてしっかり説明していく、またパワーポイントを作っていたら分かりやすく説明していく、こういったことが政治を分かりやすくしていくことで非常に重要なことでありまして、私自身もそのことを非常に、自分自身もしっかり

と分かりやすい説明をしないといけないなというふうにも感じさせていただきました。

まず、私自身が市長として、皆様方と同じように香美市を住みやすいところに、そして誇りに思えるような、そんなところにしていきたい、そのような思いであります。そういう意味では、皆さんと私は同じ考え方を持っておりますし、特に若い方のアイデアをどんどん市政に生かしていきたいというふうに思っております。

先ほど課長の中から検討させていただきますという答弁をさせていただきました。その検討していくという事に関しましては、また私も責任を持って、いろいろなことで取り組んでいきたいというふうに思っております。そして、皆様方はこれから高校への進学、あるいはこれからの社会人としてのことを考える時期であるというふうに思っております。やはり一人一人がまちづくりに関わったり、政治に関わっていくことによって町が発展していくと思うし、どんな仕事に皆さんが就くかということは分からないですけれども、今日考えていただいたこともひとつベースにしながら、自分の課題、あるいは自分がやりたいことをしっかり今見つけていただいて、そして、出来れば香美市にずっと住み続けていただいて、一緒にまちづくりに関わっていただきたいというふうに思っております。

また、私45歳であります。皆さん方もそこ、あるいはこちらに座っていただくこともあろうかと思っておりますので、一緒になってまちづくりをお願いしたい、そういったことをお願いして私のお礼のご挨拶とさせていただきます。本日はありがとうございました。

○議長（山崎結太君） ありがとうございました。以上をもちまして、令和4年香美市こども議会を閉会いたします。どうもお疲れ様でした。
(午前10時00分 閉会)